

連載③

第5次中期事業構想の実現で

夢をかなへに

専務理事 宮本 達也

3 生協さくら病院工リアの医療活動

①病棟運営

1965年の開設当時、他の精神科病院と同様に閉鎖病棟で運用していました。しかし1981年に、当時全国の精神科病院でも例の少ない、全ての病棟で窓の鉄格子を無くし、日中ドアにも施錠しない全開放病棟として運営してきました。

その後、2012年には病棟再編を行い4つの病棟から2つの病棟へ変更して、認知症や様々な精神科疾患を抱えた方が入院療養をされています。患者さんの安全な入院療養やご家族の安心、何よりも事故防止のため開放病棟から閉鎖病棟で運営した方がいいのではないかとの声も聞かれています。一部閉鎖病棟での運営についての調査・検討における医療活動を振り返り、また閉鎖病棟で医療活動を行っていく際の患者さんへの影響、今後の生協さくら病院での入院医療の方針などを十分に議論した上で決定していきます。

②外来診療

病棟再編に伴つてサービス付き高齢者向け住宅開設と同時に、在宅療養支援病院として通院の困難な患者さんを対象に訪問診療を行っています。さらに、訪問看護ステーション・ヘルパーステーションとの連携を強化し、安心して療養生活ができるようサポートしていきます。

作業療法士・事務・外部委員など多職種のメンバーで構成する「精神医療プロジェクトチーム」を立ち上げ、生協さくら病院の歴史を改めて見直し、現在の役割と課題を分析するなかで、未来図を作り上げます。同時に、経営改善に関しても重点を置き検討していきます。

③精神科デイケア・精神作業療法

地域生活を支援するためには精神科デイケアや精神科作業療法などの取り組みが必要です。特に、精神科デイケアについては、本来の目的を追求し、地域分析と作業所などとも連携をすすめ、患者さんにとつて魅力あるプログラムを作成に努めます。

④今後の方向性

医師・看護師・精神保健福祉士・作業療法士・事務・外部委員など多職種のメンバーで構成する「精神医療プロジェクトチーム」を立ち上げ、生協さくら病院の歴史を改めて見直し、現在の役割と課題を分析するなかで、未来図を作り上げます。同時に、経営改善に関しても重点を置き検討していきます。

外来治療においても、精神科チーフが精神的不調のある方のお宅を訪問し、治療につなげるような体制をどこまで組み入れることができるかについて、今後試行錯誤しながら取り組む必要があります。

訪問看護は障がい者の方々の生活の場面に立ち合い、日々の生活の具体的な困りごとや目標について一緒に考え、必要に応じて家族や関係機関との連携を図る役割を担っています。外来診療と訪問看護を組み合わせた取り組みを強化します。

2月8日、幸畠第2団地集会所で「男たちの交流会」を開催し、組合員・職員合わせて29名が参加しました。今年度に幸畠支部で「幸畠男組」班が新しく結成され、青森保健生協では男性だけが班員となっている班だけが班員となっている班が海岸線支部「男の班」、新城支部「おとこまさえ班」、新支部「力シス班」に加え、4班となりました。男性だけの班は全国的に珍しく、今後楽しく無理なく班会を継続するためにはどのような活動をしていくべきか意見交換を行いました。新班結成に至った経過の報告や自己紹介をしたあとで3つのグループに分かれ交流しました。お酒や禁

(編集部)



男たちの交流会を開催

◆あおもり協立病院で産声をあげた孫娘が今、春の大學生験の猛勉強中です。
◆大腸がんの検査の結果
ポリープが見つかりました

（新城 東義紘）
（浪館 烏山美喜代）

ちょっととひとこと

2016年度 後期社保平和学校

刻々と変わっていく社会保障制度。誰もが安心して医療や介護が受けられるために、私たちは何をすれば良いのでしょうか。一緒に学び、考えませんか。

【日 時】2017年3月18日(土)
14:00~15:30

【場 所】青森県民福祉プラザ
4階大研修室

【講 演】
「社会保障をめぐる現状と改善への課題」

講師/青森県立保健大学
社会福祉学科講師
村田 隆史氏

【お申し込み・お問い合わせ】
社保平和委員会事務局 組織部
☎017(762)5888



理事会報告

2016年度第8回 1月26日

- つつみプロジェクトから、定員15人の地域密着型デイサービスへ変更していく内容の答申を受け、議論を踏まえ承認しました。また、提案内容で実施していくこととしました。
- 2017年度通常総代会関連について、日程、総代選挙管理委員会の設置と委員の選出、長期住所不明組合員脱落処理の提案、役員推薦委員会報告があり承認しました。
- 出資金対策プロジェクトについて、支部と事業所における出資金ふやしの取り組みの行動提起をする短期プロジェクトを立ち上げることを承認しました。
- 2016年度のまとめと2017年度の方針案について、協議しました。

3月の日程

- | | |
|--------|------------------|
| 4日(土) | 組合員・職員
活動交流集会 |
| 11日(土) | 統一行動日 |
| 23日(木) | 理事会 |
| 25日(土) | 統一行動日 |

青森保健生協現勢(1月末現在)

組合員累計 45,142人
出資金累計 1,606,178,000円
一人平均出資額 35,580円

3月の生活相談日

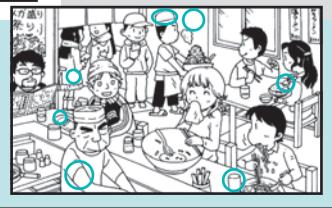
- | |
|--|
| ■あおもり協立病院・生協さくら病院
【相談日】平日および土曜午前
【時 間】午前9時~午後4時30分 |
| ■中部クリニック
【相談日】22日(水) 定例:第4水曜日
【時 間】午後1時30分~3時30分 |
| ■安方クリニック
【相談日】21日(火) 定例:第3火曜日
【時 間】午後2時~4時 |
| ■つつみ(旧堤診療所)
【相談日】14日(火) 定例:第2火曜日
【時 間】午後2時~4時 |



応募者83名／正解83名

【当選者】塙本裕子(金沢)・中村ゆかり(月見野)・葛西誠(油川)・八木橋英明(野尻)・榎原紀子(栄町)・中野広大(堤町)・市川和好(中央)・清野静(千刈)・中村眞理子(八重田)・佐藤裕子(奥内)

※3月上旬、図書カードを発送します。





チャレンジ企画に 計2,360名が 参加しました!

(*終了返却のあった実数)

前月号で「きつずチャレンジ」の結果報告(2026名の終了返却)を掲載しましたが、大人向けのチャレンジとして組合員・職員が日常生活の中で楽しく自主的な健康づくりをすることを目的とした「健康づくりチャレンジ」を9月~10月に実施し、276名の終了返却がありました。7つのコースから選ぶことができ、運動コース、健康管理コース、食生活コースの3コースの参加者数が多く、健康を意識した生活習慣づくりのきっかけとなりました。今回、健康づくりチャレンジに参加した幹なウォーキングサークル(16名)はあわせて青森市の「健康トライアル100日」にも取り組み、青森市民健康アップフォーラムで表彰されました。

健康づくりチャレンジ参加者から寄せられた感想を一部ご紹介します。

- あいうべ体操と健康管理ならできると思いチャレンジ。80代の一人暮らしの私にとって楽しい日々でした。あいうべ体操はこれからも大声で続けます。(80代女性)
- 毎日のストレッチで柔軟性アップ! また、脳トレのために電卓を使用するのをやめることで頭の回転が少し良くなり、暗算の処理速度が速くなったと思う。(40代男性)

- 脳いきいきコースで毎日、新聞の音読を続けたところ、少しずつですが忘がちだった日にちなどを覚えていれるようになりました。(60代女性)
- 健康づくりチャレンジに参加して健康意欲が高まりました。ウォーキングや野菜を多めに摂取することなどを継続しています。今後も自身のために続けていきます。(60代男性)

- 高かったコレステロールが再検査の結果正常値内になり、健康づくりチャレンジに感謝です。大変励みになりました。(60代女性)



「チームでがんばったで賞」を受賞した幹なウォーキングサークルのみなさん

今年度で2回目となる「すこしおチャレンジ」には15グループ(58名)から実施結果の提出がありました。目標値は6g/l未満ですが、結果からは減塩を心がけていることがうかがわれ、提出者の平均尿塩分は6.28g/lでした。最優秀グループは4.13g/lという素晴らしい結果でした。

今後も自分自身の健康管理のために、楽しみながら健康づくりや減塩に取り組んでいきましょう。

所長交代および異動についての ごあいさつ

2017年4月から中部クリニックの医師体制が変わります。

中部クリニック
所長 原 徹

このたび、私は2017年4月より八戸市の八戸生協診療所の所長に就任することとなりました。島根県の宍道湖のきれいな城下町である松江市で生まれ育ち、島根医科大学を卒業後、縁あって東京で仕事をしていました。

1999年6月にあおもり協立病院へ赴任、病棟と外来を担当しながら、同時に中部クリニックや堤診療所の外来・往診にも入りました。2000年4月、佐藤友克先生のあとを受けて中部クリニック所長へ就任しました。

たくさんの外来患者さん、往診患者さんとお話しをし、また中部クリニックに来てくれた多くの若い医師とも一緒に走ってきました。ひたすら走って17年間、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

中部クリニックはかけがえのない大切な空間です。新しく所長に赴する竹本歩先生はとても素敵な先生です。これからも中部クリニックならびに青森保健生協をどうぞよろしくお願い申上げます。私も引き続き健康に気をつけ、頑張ります。



現所長:原 徹 新所長:竹本 歩



- 【材料】(2人分)**
- ・乾燥パスタ 160g (茹でる時は水に対して0.5%の塩を使用⇒水1.5lに塩小さじ1強)
 - ・殻つきのあさり 約300g (砂抜きしたもの)
 - ・芽キャベツ 5個
 - ・にんにく 1片
 - ・玉ねぎ 1/2玉
 - ・鷹の爪 適量
 - ・オリーブオイル 大さじ1
 - ・白ワイン(日本酒でも可) 大さじ4
 - ・水 200cc
 - ・顆粒コンソメ 小さじ1
 - ・塩 少々
 - ・こしょう 少々
 - ・ドライパセリ 適量

●今月のレシピ ★★ あさりとキャベツの スープパスタ★



- 【作り方】**
- ①鷹の爪は種を取り除いて輪切りにする。玉ねぎ、にんにくはみじん切りにする。芽キャベツは縦半分に切っておく。
 - ②表示時間より1分早い時間で固めにパスタを茹でる。パスタが茹であがる1分前に芽キャベツも一緒に茹でる。
 - ③フライパンにオリーブオイル、にんにく、鷹の爪を入れて弱火にかける。
 - ④にんにくが色付いたら玉ねぎを炒め、火が通ったらあさりを入れる。
 - ⑤白ワインを入れて蒸し焼きにし、あさりの殻が8~9割程度開いたら、芽キャベツと水、コンソメを加えて煮る。
 - ⑥全てのあさりの殻が開いたらパスタを加え強火で和える。
 - ⑦お皿に盛り付け、ドライパセリを散らしてできあがり。

(1人当たり約450kcal 塩分約2.4g)

● One Point

- ・あさりの代わりにはまぐりを使ってひな祭りのメニューにいかがですか♪
- ・春キャベツや菜の花など野菜を変えてアレンジもできます。